

来週の「売り物」記事はこれ



2015年4月24日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

JR福知山線事故

記憶障害を負った女性の10年

26日(日)



乗客106人が犠牲になったJR福知山線の脱線事故から10年がたちます。この電車に乗り合わせ、ひん死の重傷を負った女性(40)がいます。「余命3カ月」と告げられ、5カ月間の意識不明に陥りました。奇跡的に意識を取り戻しましたが、身体は自由は奪われました。それだけではありません。記憶が抜け落ちる高次脳機能障害を負っていたのです。女性と家族の二人三脚の歩みが始まりました。かすかな希望の灯が見えたかと思えば、押し寄せる絶望……。その繰り返しだったといいます。事故から10年。終わらぬ被害者たちの「闘い」をお伝えします。

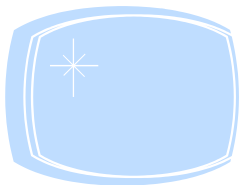


日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

テレビの司会やCMで大人気の「イノッチ」

誰にでも好かれる理由とは

夕刊2面特集ワイド 28日(火)



「イノッチ」こと、アイドルグループ・V6の井ノ原快彦さんの人気が幅広い世代で高まっています。ファミリー向けCMに引っ張りだこで、レギュラーを務めるNHKの「あさイチ」では共演者への自然な気配りに支持が集まります。今月からは「出沒! アド街ック天国」(テレビ東京)の司会に抜てきされ、アイドルの枠を超えた活躍に「新しい時代の司会者像を示している」との評も出ています。イノッチはなぜ誰にでも好かれるのでしょうか。「あさイチ」のスタジオも訪ね、探りました。

憲法記念日 憲法を学ぼう 考えよう

5月3日(日)から

憲法改正論議が具体的な政治テーマに浮上する中で憲法記念日を迎えます。3日朝刊では2頁の特集面「戦後70年 これまでこれから」で憲法を取り上げるほか、同日朝刊から憲法企画を4回連載します。これに先立ち、朝刊5面では5回にわたって主要政党幹部の憲法論を聞くインタビューも始めます。



インサイド 「野球場の安全と臨場感——打球事故訴訟から考える」

28日（火）から6回

札幌ドームで2010年、プロ野球観戦中にファウルボールが当たって右目を失明した女性が、北海道日本ハムファイターズなどに損害賠償を求めた訴訟で、札幌地裁は3月、原告の訴えを全面的に認め、球団側に約4200万円の支払いを命じました。ボールパーク化を進めるメジャー球場の影響や、球界再編問題を受けたファンサービスの一環として、臨場感の充実を求める傾向が強まるプロ野球。「球場の設備は安全性を欠いていた」と断じた判決は関係者に衝撃を与えました。判決に対する各球団の反応と対策は？ 観客の本音は？ 米大リーグの場合は？ プロ野球観戦の「安全」と「臨場感」のバランスについて多角的に考察します。



注目集める

「猫付きシェアハウス」

くらしナビ面 29日（水）から



猫と一緒に住みたいという1人暮らし向けの「猫付きシェアハウス」が東京都内にあり、注目を集めています。複数の人と数匹の猫が同居する生活——動物愛護のNPO法人と不動産会社が運営していますが、殺処分される猫が救われたり、人も癒されたり。2カ所目も今月、開設されました。

朝刊文化面

「枕草子」を歩く

5月2日（土）

文学作品の舞台を訪ねる大型ルポ「名作の現場」は、エッセイストの酒井順子さんによる「枕草子」。この平安時代を代表する名随筆で作者の清少納言が度々参詣に訪れたことを書いている奈良の長谷寺などを歩きます。ちょうど「枕草子」の現代語訳に取り組んでいる酒井さんは、1000年の時間を超え、人気の「パワースポット」のありようを柔らかくも鋭くつづります。

